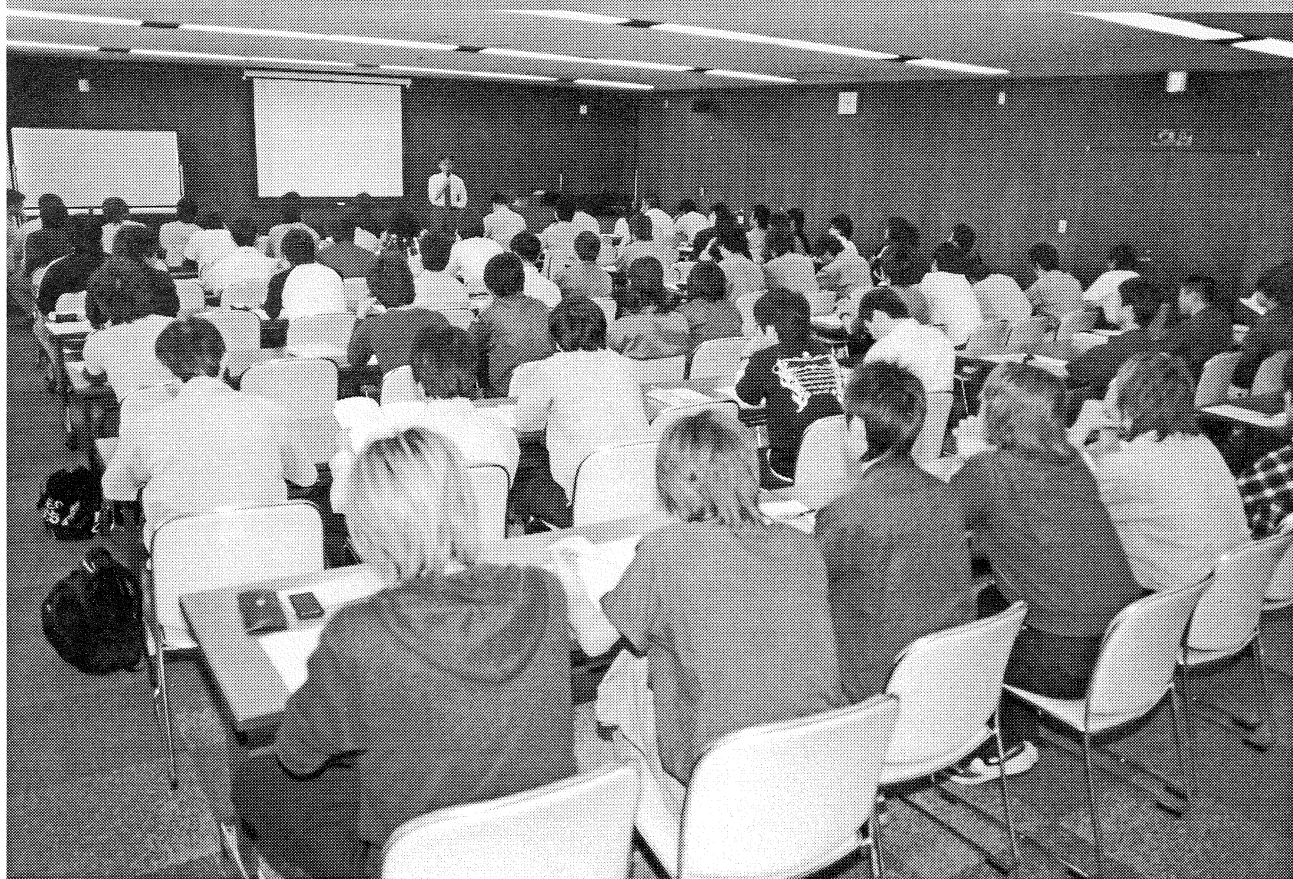


岐阜県の プラスチック

- ・平成22年度工業組合総会を開催。事業計画と予算決める
- ・総会後の講演は『岐阜県経済の現状』（要旨を紹介）
- ・県産業技術センター応用化学研究部が研究成果を発表
- ・射出成形の技能検定試験に1級40人、2級68人が受検
- ・工業組合会報は200号を重ねる
- ・役員と賛助会員の会社紹介

↓射出成形機の知識講習



工業組合が第42回総会と講演会を開催

「大不況を体験した能力を生かせ」

児玉理事長が一層の経営努力呼びかける

岐阜県プラスチック工業組合は、5月18日午後、ホテルグランヴェール岐山で『第42回通常総会』を開催した。総会議案は①平成21年度事業報告と収支決算②平成22年度事業計画と収支予算③平成22年度賦課金及び納入方法④平成22年度取引金融機関及び借入金最高限度額一で、4議案を原案どおり承認した。

議案審議後の講演会は、講師に江崎禎英・岐阜県商工労働部長を招いて『岐阜県経済の現状』を聞いた。江崎部長は講演の中で「単純に量産化でコストを下げる経営意識を捨てて、相手か欲しがらる良いものだけつくる経営を…」と示唆した。(講演要旨は6～7頁)

4議案を承認する

新年度総会は、大野實副理事長の開会あいさつで始まり、これを受けて児玉栄一理事長が「理事長に就いた1年前はリーマン・ショックによる世界同時不況の最中だった。その後、日本経済は中国、インドをはじめとする中新興諸国の成長に支えられて落ち着いてき

た。その矢先、ギリシャの財政危機から欧州金融不安が広がって世界経済を揺るがすなど、経済の先行きはとても見通せない状況にある」と前置きし、業界の課題と方向を示した。

経営基盤の再点検を

児玉理事長が課題と方向を示す

児玉理事長が示した課題は「日本経済は2009年の世界同時不況に遭遇したが、昭和の金融恐慌が納まりかかった2年後の1930年にも大きな



第42回総会で業界の課題と方向を示した児玉理事長

経済不況を体験している。その説でいくと今年にはリーマン・ショックから2年を経たところで“回復局面の経済を再びダウンさせるのではないか”と危惧される。企業が度重なる不況を体験して大切なことは“学習能力を生かし、この時期に何をやり、何を解決しておかねばならないか”ということで、この時こそ“経営基盤の再点検”が重要だと思う」さらに、

「成形加工業界の関心事はやはり原料価額。1年前、1キロ2万4千円だったナフサ価格は

今日では2倍の4万8千円に跳ね上がっている。今後は、原油高騰の2008年7～8月に記録した1キロワット8万円はないかもしれないが、高騰し続けた場合、加工業界は顧客に対し“製品へ転嫁することを迅速にきちんと説明”し、理解を得ていきたい」と、最後に、



「前期の大企業は減収増益、減収黒字化を発表しているが、これはリストラ中心の結果で、企業の本質は少しも改善されてはいない。いぜん厳しい経営環境にある中小企業にとっては、大企業以上に経営システ

総会後の懇親会で山下産業技術研究センター所長の音頭で乾杯

ムを見直し、利益を生み出す経営基盤の回復に取り組みねばならない」と、一層の企業努力を呼びかけた。

県産業技術研究センター「総合支援・環境技術部」を新設 「中小企業応援センター」を開設 県中小企業団体中央会

総会には関係機関・団体から6人の来賓を招いたが、議案審議に先立ち大沼浩宣・県中小企業団体中央会チームリーダーから、また懇親会の席では山下典男・県産業技術センター所長から次の激励の祝辞があった。

や専門家の派遣を行う。

支援内容は①農商工等の連携②地域資源活用③新連携④ものづくり支援⑤経営革新⑥創業⑦事業再生⑧再チャレンジ⑨事業承継⑩IT活用⑪知的資産経営一などを行う。

窓口相談や専門家派遣の業務行う

大沼中央会チームリーダーは、辻正会長のメッセージを代読した後「中央会は4月1日から新事業・中小企業応援センターを開設、専門家による新事業の展開やものづくり、新たな経営手法への取り組みを支援する事業を開始したので、大いに活用してほしい」と話した。

中小企業応援センターは経済産業省・中小企業庁が全国87カ所で開設した新規事業で、岐阜県下では県産業経済振興センター、岐阜商工会議所との三者連合体形式で事業開始、相談業務

応用化学部の利用件数は約4千件

山下産業技術センター所長は「センターには6つの研究部門があり、年間1万5千件の技術支援や技術相談、機器の開放利用をしてもらっている。うち応用化学研究部では4千件にものぼるが、近年多くなったのは環境関連の技術相談です。このためセンターは総合支援・環境技術部を新設、複合的技術開発や環境関連プロジェクトを推進することにしたので、プラスチック成形加工業界とも手を組み、産官の連携をさらに深めていきたい」と話した。

新事業、予算などを可決

— 予算総額は 2,400 万円 —

総会議事は最初に①平成21年度の事業報告と総額2,606万余円にのぼる平成21年度決算②8項目にのぼる平成22年度事業計画と総額2,400万円の事業予算③平成22年度賦課金及び納入方法④平成22年度の取引金融機関及び借入金最高限度額一の議案説明と審議の後、可決した。

工業組合の原点に立ち返り再検討

新年度の日本経済は「一部に景気回復の兆しはあるものの依然として低迷状態にある」とされるが、当工業組合の景況調査では「売上、収益性、従業員数、総合判断のいずれも前年、前前年に比べて“減少と悪化”を訴え、プラスチック成形加工業界の先行き見通しは、少しも楽観は許されないとし①ものづくり産業にとって生き残りをかけ、高品質・高付加価値製品の開発と新事業・新分野への進出を図る必要がある②組合活動はこの主旨に沿って、良い製品づくりへの環境整備、総合的な技術開発システムの構築、社会的信頼の確保などに取り組みねばならない③組合活動の原点に立ち返って再検討していく—ことを基本方針とした。

技術向上へ検定事業を強力に推進

《指導教育事業》①国、県、中小企業団体中央会、その他産学官等の関係機関と連携を図りながら組合員のための研修会、講演会、セミナー等を積極的に推進する。

②技能労働者の技能向上のため「技能検定」の実技を受託実施する。

◇プラスチック成形射出成形作業◇プラスチック成形用金型製作作業◇プラスチック成形ブロー成形作業◇その他関連職種として（フライス



来賓、賛助会員を交えた懇親会

盤、プラント製図・機械製図CAD作業等)の申請受付

③技能検定試験の合格率向上を図るため、各職種ごとに成形機操作説明会と技能確認講習会を実施する。

④経済、技術、環境等に関する講演会を実施する。

⑤廃プラ処理対策検討委員会を随時開催。

⑥中小企業雇用促進関連機関との連携調整を行う。

⑦先進企業の視察研修及び技術専門展等の視察を行う。

⑧樹脂金型研究会（主催：NPO地域産業支援ネットワーク）を支援する。

会報の発行やホームページを更新

《情報提供事業》①会報『岐阜県のプラスチック』を発行し、情報提供を行う。

②国、県、関係団体等からの情報を組合員に提出する。

③インターネット・ホームページを随時更新する。

《**共済事業**》離型剤、防錆剤等の斡旋事業を実施する。

《**金融事業**》県及び政府系金融機関が実施する運転・設備資金の融資及び各種中小企業融資制度の周知、指導、斡旋事業行う。

《**事務代行事業**》組合員の労働保険業務を組合員に代わって行うとともに勤労者福祉を支援し労働保険未適用事業所の適用促進を図る。

《**調査研究事業**》変革する社会情勢の中で適切な情報、施策等を提供するために必要な調査情報の収集を実施する。特に「廃プラ」問題などの地球環境に関しては引続き留意して行う。

《**福利厚生事業**》組合員の親睦と交流・連携の促進を図るため◇組合員の「健康づくり親睦ゴルフ大会」◇組合関係者全員による交流会の設定◇組合員の慶弔見舞いを実施し、組合の円滑な運営と組織の強化、活性化を図る。

《**定例役員会の開催**》当面の組合事業の懸案処理、各役員間の情報交換等、円滑な組合運営を図るため、隔月に定例役員会を開催する。

平成22年度月別事業実施計画の概要

〈平成22年 6月〉

- ・プラスチック射出成形作業技能検定（成形機操作説明会、技能確認講習会、実技検定試験のスケジュールは10頁に詳細を紹介）

〈7月〉

- ・第3回理事会（下旬）

〈9月〉

- ・第4回理事会（下旬）

〈10月〉

- ・組合員関係者親睦ゴルフ大会（下旬）

〈11月〉

- ・視察研修事業（工場見学）

〈12月〉

- ・第5回理事会及び役員懇談会（初旬）
- ・事業者台帳等に関するアンケート調査を全組合員対象に実施

〈平成23年 1月〉

- ・第6回理事会（中旬）
- ・新年互礼会（金型工業組合と共催予定）
- ・ブロー成形作業技能検定（1月下旬に操作説明会、実技検定は2月初旬に予定、会場はコダマ樹脂工業(株)）
- ・プラスチック成形用金型製作作業技能検定（下旬に操作説明会及び実技検定、会場は職業能力開発大学校）

組合青年部が6月に中国・上海視察

中国初の万博を視察

工業組合青年部（宇野兼史部長）は新年度の研修旅行として『上海万博視察』を計画、準備を進めている。計画によると、6月25日から2泊3日の日程で中国・上海市で開幕した『上海国際博覧会（上海万博）』を視察する。

上海万博は中国が初めて開いた万博で、世界

246の国・国際機関が参加し『より良い都市、より良い生活』テーマに5月1日に開幕しており、10月31日までの184日間開かれる。

青年部の視察日程は25日朝、中部国際空港を出発し上海浦東空港へ到着、初日は上海市内を遊覧、浦東新区と虹橋エリアで経済事情を視察する。過去最大規模といわれる上海万博の視察は2日目に予定し、翌27日夜、名古屋・セントレア空港へ帰着する。

「新しい視点に立った経営を…」

大不況に立ち向かった産業経済を分析

工業組合は総会后、江崎禎英・岐阜県商工労働部長を招き『岐阜県経済の現状』をテーマに講演会を開いた。講師は岐阜県出身で通商産業省、大蔵省、資源エネルギー庁を経て平成20年4月に着任し総合企画部次長、同21年から商工労働部長として活躍されている。講演では県経済を詳細に調査・分析した現況に、ヒアリング結果を加えて分かりやすく説明し、最後に「新しい視点に立って経営に当たってほしい」と示唆した。

リコール問題の影響あまり出ず

○…説明する現状は各部局がまとめた資料に、主要企業150社を対象にしたヒアリング・データを組み込みまとめた。

まず、県経済の景気動向を製造業から見ると「景気動向指数は半年間上昇を続け、企業の景況感も回復の兆しが鮮明。2月の鉱工業生産指数は90.4と前月比で0.4%下落」したものの製造業の売上げは持ち直している。

自動車関連はピーク時の8割程度まで受注が回復、トヨタのリコール問題の影響もあまり出ず安定している。ただし自動車関連金属製品では「コスト削減要求と原材料や燃料代の上昇傾向が重なり利益圧迫要因」になっている。プラスチック部品の製造では「3月ま

ではハイブリッド車向けがフル生産体制にあったが、現在は通常のシフト」である。

輸出はデザインや高品質で勝負

○…輸出動向は「中国や韓国向けの大口受注が決まっているが、単価引き下げ要求が激しい。デザインや品質で勝負する商品の輸出はそれほど落ち込んではいない。また新興国向けの低価格製品を製造する製造業の海外シフトが進んでいる」など。

個人消費の動きは「前年の反動から大型小売店販売額は増加に転じ、エコポイント効果もあって軽を除く新車販売は景気後退以前の水準へ回復、薄型テレビなど電化製品は前年比3割も増加」している。

回復への足取り重い生産用機械

○…設備投資の面では「生産用機械の受注額は景気後退前の水準にはほど遠いが、回復傾向に推移」「取引先の工作機械メーカーが新型を出しピーク時の5割程度まで受注が戻った」とするが、足取りは遅い。

設備投資の傾向は「補修・更新といったやむを得ない理由が大半で、生産能力の拡大・

←講演する江崎商工労働部長



売上げ増加に結びつく前向きな投資の回復は足取りが重い」とし、機械メーカーは「今年中の回復は見込めない」と悲観視している。

住宅・建築投資は「3月期までの建築着工は低調で、前年同期の約3分の1にとどまり急激な需要の回復は見込めない」という。公共工事は「前倒し発注の好影響から21年度県内総請負金額は2,007億円と、7年ぶりに前年度を上回ったが、新年度は予算の大幅削減で先行き不透明、悪化」の見通し。

中小はコスト圧縮進まず厳しい

○…企業の資金繰りは「新規融資実績は21年秋口から沈静化し、10月以降は5カ月連続で前年を下回っている。足元の借り入れ難易感は一時的だが、資金繰りは回復の兆し」が見られるが「既存融資の借り換えや返済条件の変更で、返済負担を軽減し業績の持ち直しを図る予定が、業績が回復しないまま厳しい資金繰りを続ける企業は多い」という。

企業倒産は「21年は全県で243件（建設業65件、製造業62件で全体の5割超）で昭和43年以降では4番目」に多く、小規模倒産が目立った。今年に入っても上昇傾向は続き、リサーチ会社は「中小企業はコスト圧縮が進まず、大企業のように外需に頼れず、業績回復の足取りは重い」と観測している。

雇用面は「依然として求人が少なく、短期雇用が大半を占める。好調な自動車関連も今秋以降の動向が見通せず、正社員の求人に結びつかない」。失業率から見ると「完全失業率は3.5%と4期ぶりに低下しているが、最近、職探しが非常に困難になり、仕事をあきらめた人の影響が大きい」など、雇用面の改

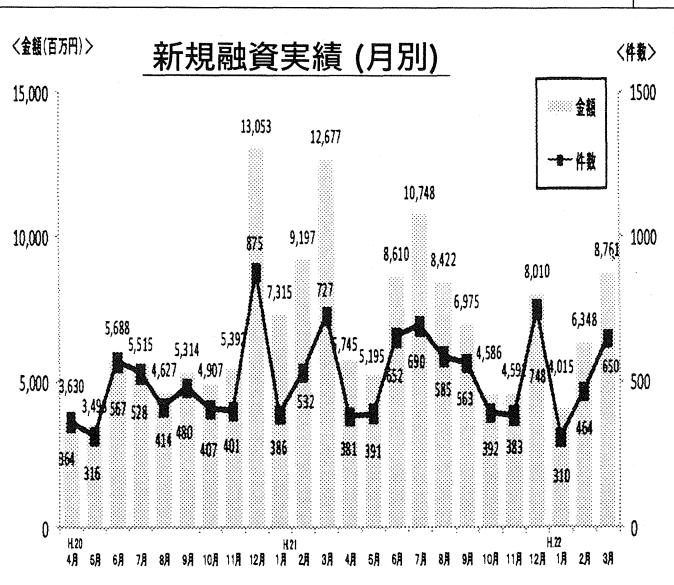
善は進んではないようだ。

県人口の動きは「20年以降の不況で年間3～4千人も大幅減少」した。誘致した製造業の外国人の県外流出が主原因。

中国産業とは同じ土俵で競うな

○…県経済の動きを調べていると産業界に学んでもらうことは多い。百年に一度という大不況の中で感じた一つは、かつての日本産業は「品質が良く低価格の製品を世界に送り出し」いち早く景気の立て直しを図った。今回は、かつての日本産業と同じ役割を中国産業が果たし、しかも日本の製造業は中国産業のおこぼれに預かって救われた。

中国産業の成長ぶりと、つくり出す製品の品質・価格は世界との貿易量を見れば明らかなこと。もはや「日本産業は中国産業と同じ土俵の中で競うな」と言いたい。どうすればよいのか。それは「差別化」で中国にないものづくりに取り組み、汎用品だけ中国でつくってもらえばよい。これまでの経営意識「量産化でコストを下げる」を捨て「相手が欲しがるものだけつくる」という「新しい視点に立った経営」を進め「つかんだ顧客は絶対に逃さないビジネス」を展開してほしい。



新事業では環境配慮型ものづくり産業を支援

◇産業技術センター・応用化学研究部が研究成果を発表◇

岐阜県産業技術センター・応用化学研究部は4月13日、同技術センター講堂で『研究成果発表会』を開いた。発表会はセンター創立100周年記念講演会（CO₂排出量削減に向けた各種制度）に続いて開催、最初に原田敏明部長が『新年度に実施する研究開発事業』を説明、続いて各研究員が前年度に実施した『研究成果5テーマ』を発表した。

新年度に行う研究開発業務の内容

応用化学研究部が新年度事業として取り組む研究開発事業は次のテーマに決まった。

①都市エリア事業（岐阜県南部エリア）では耐穿刺性・潤滑性を有するカテーテルの開発。

②環境配慮型ものづくり産業支援プロジェクトでは、熱的・機械的特性に優れたバイオマスプラスチック複合材料の開発、廃プラスチック再資源化技術の開発。

③地域密着型研究では、層状フィラーを用いた機能性プラスチックフィルムの開発、光触媒担持ポリエチレンフィルムの開発。

④戦略的基盤技術高度化支援事業では◇発泡樹脂にかかるポーラス成形技術の確立◇熱可塑性と熱硬化性樹脂のハイサイクル三層成形を可能とする複合金型の開発◇多品種・小ロット生産に対応した多層ブロー成形を行えるハイブリット構造ダイヘッドの開発。

ポリ・フィルムに機能性を与える

《表面制御による高活性化光触媒有機製品の開発研究》光触媒機能をもつポリエチレンフィルムの開発をめざし「光触媒表面を膜剤等で処理し、有機素材へのコーティング加工時に生じる光触媒表面への汚染を抑制しながら、脱シーールド工程で埋没する光触媒粒子の頭出しを効果的に行う技術を検討」し、蛍光灯下でも即効性と耐久性のある高活性化光触媒ポリエチレンフィ



応用化学研究部の研究成果発表会

ルムの開発を行った。

開発品は蛍光灯のプレ照射だけでも高い機能を発現し、悪臭分解（ガス分解）の他、抗菌効果を発現し、水質浄化、紫外線吸収などの優れた光触媒機能があることを確認した。

透明性を保ちながらバリア性向上

《フィラーの均一分散技術の開発》プラスチック材料への酸素や水蒸気の透過を抑制するために、ガスバリアフィルムやコーティング技術の開発が行われている。容器材料としてさらなるバリア性向上が求められているPETフィルムに注目し「無機フィラーとのコンポジット材料を作成することで、透明性を維持しつつ酸素・水蒸気などのバリア性向上」をめざした。

試験結果「ベーマイトを5%添加したPETフィルムは、添加しないPETフィルムに比べて酸素、水蒸気とも半減以下」になり、良好なバリア性を実現した。プラスチック材料への難

燃、補強、紫外線防止への用途が考えられる。

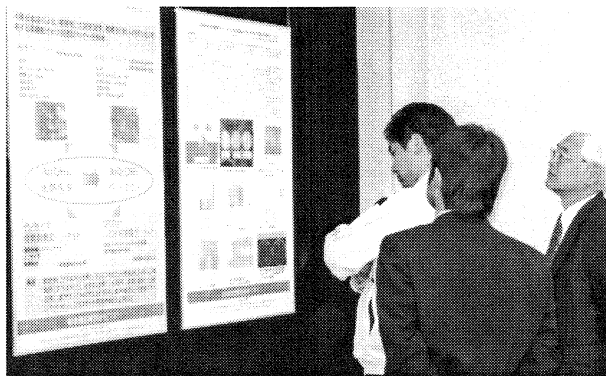
高い接着強度をもつ表面処理方法

《表面改質による異種界面密着性向上に関する研究》電子機器の高速化、小型化の進展にともないプリント配線の微細化と信号の高周波化が進んでいる。そこで導体表面のラフネス（粗度）を低く保ったまま、樹脂基板と高い密着性をもつ表面処理技術が望まれる。研究では「物理的処理と化学的処理によって銅箔表面のラフネスが100nm（1ナノは10億分の1）以下の鏡面で、ポリイミドに対して高い接着強度を有する表面処理方法を提案」した。

方法は「銅箔を400℃を保持した大気雰囲気炉で処理した後、銅酸化物の還元処理」を行った。この処理時間を「短時間制御することで銅箔表面にナノ凹凸構造」が形成できた。構造は銅酸化膜で構成されるが銅箔との密着性が悪いため「ホルマリンで酸化銅を還元した結果、ポリイミドに対する密着性が向上」した。さらに「銅箔表面をアルミ基終端の自己組織化分子膜により修飾し、高い接着強度を有する銅／ポリイミド界面を実現」できた。

バイオマスプラスチックを軽量化

《バイオマスプラスチックの利用拡大技術》
バイオマスプラスチックは地球温暖化防止や枯



研究開発の成果をまとめたパネルも展示

渇性資源の節約、さらにCO₂排出抑制とつながって注目され、県内成形加工業界においても製品開発が検討課題になっている。

市販されているPLA（ポリ乳酸）を中心とするバイオマスプラスチックは、汎用プラスチックと比較して耐熱性・衝撃性などの性能が劣るため用途が限られていた。近年は耐熱性の高いポリ乳酸が量産され始めたものの比重が1.3倍と、重くなる欠点は未解決である。

研究は「ポリ乳酸／ABSに熱膨張性のマイクロカプセルを添加、ドライブレンドし、軽量化を試みた。この結果、比重1より小さいバイオマスプラスチックを得た。荷重たわみ温度はポリ乳酸よりも高い温度を示し、機械的強度はかなり低下したものの、ポリエチレンやポリスチレン程度の強度を有する」こともわかった。

再資源化樹脂が劣化する原因探る

《再資源化プラスチック中の揮発性成分による成形品への影響》再資源化されたプラスチック材料は、強度などの物性や成形品の品質への悪影響が懸念される。このため再資源化プラスチック材料の物性を改善する手法の開発、成形時のポリマー添加剤、熱分解生成物等を把握する手法確立が求められる。

研究は「ガスクロマトグラフ質量分析計にプログラム昇温加熱が可能な加熱炉型の熱分解装置を組み合わせた装置を用い、揮発性成分のクロマトグラムを得る熱脱着分析法」を用いた。

試料は「成形時に穴が発生した再生ポリエチレン素材を用いて、揮発成分の同定を行って穴の発生原因」について考察した。この結果「ポリエチレンの成形不良原因は、リサイクル工程における繰り返し加熱によりアルデヒド類が生成し、成形時にアルデヒドがガス化して製品に穴が生じた」と考察できた。

射出成形の実技検定は6月17日から27日間 「講習会は知識、操作、確認に分けて実施」

工業組合は岐阜県職業能力開発協会から受託した平成22年度前期技能検定『プラスチック射出成形作業』の実技検定を行う。検定は岐阜県産業技術センター実験室で6月17日から8月3日まで、土日月を除く27日間もの長期事業となる。また、実技検定のスムーズな運営と合格率アップをめざした講習会は、機械材料等の全般的な知識、及び機械操作の実技を説明する成形機操作説明会、自らの技能を確認する技能確認講習会に分けて行うが、すでに5月31日に岐阜産業会館大会議室で開いた知識講習会からスタートした。

1級34人、2級75人の高水準

「2級受検者は過去最高人数を記録」

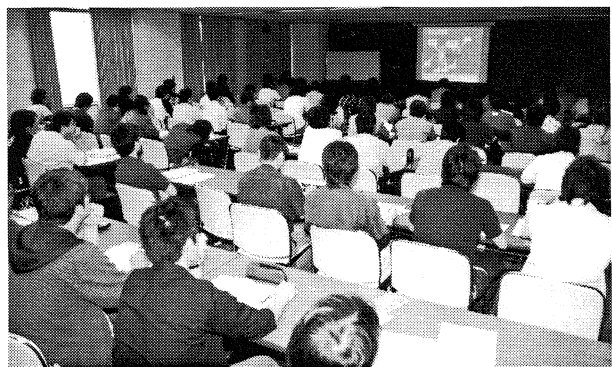
今年度の射出成形の実技受検者（員外企業含む）は1級が40人、2級は68人の合計108人。また、実技と学科を含めた射出成形の受検者総数は1級44人、2級80人の総合計124人にのぼり、前年同様の高水準になった。

学科、実技を含めた級別の受検者数を前年に比べると1級が7人減ったものの、2級で6人増えた。受検内容別では実技のみ受検が1級で目立っている。

受検者数が高水準なのは「近年の傾向として家電、自動車部品、金型など関連業界からの受検者が増えている」「成形加工業界の好調時に就職した受検資格者が多く、業界に生き残ろうと資格獲得の意欲が高い」「企業側も受注競争に打ち勝てる技術レベルの向上をめざし、受検を奨励している」と見られる。

製品の良、不良を素早く見極めよ

検定に先立つ成形機操作説明会は、知識講習と操作実技説明に分けて開いた。県産業会館で開いた知識講習には75人が参加、検定機種の日精、住友メーカーの担当者から「成形機の機構と操作」の説明を受け、午後は「成形材料及び



成形機操作説明会の知識講習

クレーンの取り扱いや成形不良対策」について詳細な説明を受けた。

6月1日から6日間は県産業技術センターに会場を移して受講者100人が8～10人のグループ別に、操作手順などの実技指導を受けた。

希望者対象に技能確認講習を実施

6月10日から開いた技能確認講習会は、受検者が増えて技術レベルに格差が生じてきたため個別にクレーンや成形機の操作を習熟してもらおうのがねらい。

受講希望者は多く実技講習に続く5日間、予定した20人が一人3時間「成形機を操作し、検定時のミスや不慣れによる時間のロスを解消する訓練」を行い、本検定に備えた。

なお、学科試験は8月22日（日）合格者発表は10月1日（金）に行われる。

工業組合会報200号を重ねる

「昭和51年5月に創刊し35年目に達成」

工業組合が発刊する『岐阜県のプラスチック』は回を重ねて本号で200号になった。会報は組合員はもとより関係機関団体・業界に向けて広報してきたもので、近年はホームページによる『ネット受発信事業』とともにプラスチック成形加工業界のPR事業になっている。

工業組合の最初の出版物は、創立した昭和43年9月に組合の設立登記完了を報じた会報第1号『プラスチック組合だより』で、以来、2～3カ月ごとに第7号まで発刊した。その後、組合事務所移転や事業の本格化で中断し、昭和51年5月に創立8周年記念事業として冊子スタイルに新装、復刊した。

第50号は『'82プラスチックフェア岐阜開催』を特集した昭和57年1月号、その後は関連業界や組合員企業の広告支援のもとに順調に発刊を重ねた。平成に入り3年6月に第100号、平成11年12月には150号、さらに本号で200号を記録した。創刊した昭和51年から35年目に当たる。



創刊号と節目の会報の表紙

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□総会出席ありがとうございました□

5月18日の工業組合総会に、ご出席いただきありがとうございました。

議案にあります新年度事業は、計画どおり推進して行きますので、事業への参加とご協力をお願いします。

□雇用保険制度が変更になりました□

変わりました雇用保険制度の内容は①非正規労働者の雇用保険適用範囲拡大②雇用保険料率の変更一で、続いて「雇用保険に未加入とされた人の遡及適用期間の改善」も行われます。

非正規労働者の雇用保険適用範囲は「31日以上の雇用見込みがあり、1週間の所定労働時間

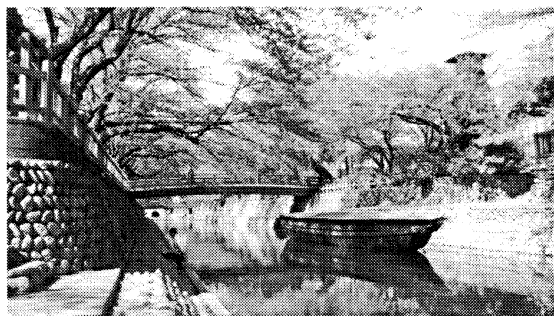
が20時間以上」に該当者が拡大されました。また新しい雇用保険料率は「一般事業の場合、平成22年度の雇用保険料率が、1.55%（事業主負担分は0.95%、労働者負担分0.6%）」です。

雇用保険に未加入とされた方の遡及適用期間の改善は「施行（平成22年度末から9カ月以内に政令で定められる）後に、事業主から雇用保険を天引きされていたことが、給与明細書等の書類で確認されれば2年を超えて雇用保険の遡及適用が可能」になります。

□組合員増強…新会員を紹介して…□

工業組合への新規加入もありましたが、一方では退会もありました。この工業組合は県唯一のプラスチック業界団体です。組合員増強に向け、新規会員の紹介にご協力ください。

祝・工業組合会報200号



大垣市水門川・船町港跡

岐阜県プラスチック工業組合 役員一同



コダマ樹脂工業株式会社

代表取締役社長 児玉 栄一

本社 岐阜県安八郡神戸町末守 377 の1
電話 <0584> 27-4141

支店 東京、大阪

営業所 本社

工場 本社、横井、熊本、栃木、池田

ポリエチレンチューブ
農業用ポリエチレンフィルム



株式会社 東海ポリエチ工業所

代表取締役社長 大野 實

本社工場 岐阜県羽島郡岐南町野中7丁目129番地 〒501-6004
TEL (058) 246-1313 番(代)
FAX (058) 247-2411 番

名古屋営業所 名古屋市西區城西5丁目5番4号 〒451-0031
TEL (052) 521-9296 番(代)
FAX (052) 532-1664 番

浜松事業所 浜松市西區入野町6056 〒432-8061
TEL (053) 447-2511 番(代)
FAX (053) 447-4248 番

業務用食器一式・製造卸・治工具金型設計製作



大垣プラスチック工業株式会社

代表取締役

日比勝次

本社工場 大垣市大島町2丁目394番地
〒503-0001 ☎(0584)81-1347(代)
精工部 ☎(0584)75-0333(代)
FAX (0584)81-1350

E-mail : ogaki-pla@okbnet.ne.jp



株式会社 武藤化成工業所

代表取締役 武藤 幸平

本社 〒501-2605 岐阜県関市武芸川町跡部781
TEL<0575>46-3711 FAX<0575>46-2285

第2工場 〒501-2605 岐阜県関市武芸川町跡部972
TEL・FAX<0575>46-2720



アテナ工業株式会社

代表取締役社長 下野 泰輔

■本社・工場 岐阜県関市下有知5601番地の1
TEL(0575)24-2424 (代表)
〒501-3217 FAX(0575)24-0567
URL:http://www.athena-kogyo.co.jp



株式会社 川瀬樹脂工業
エンジニアリング
プラスチック成型加工

代表取締役会長 川瀬 保雄

E-mail:y-kawase@sunthree.co.jp
URL:http://www.sunthree.co.jp

〒503-0011 岐阜県大垣市曾根町1丁目686番地
TEL : 0584-27-2566 FAX : 0584-27-5956

岐阜技研ポリマー
株式会社

代表取締役社長 篠田 治

岐阜市岩地 3-7-15


TEL <058> 246-2541

FAX <058> 246-2081

 **岐阜産研工業株式会社**

代表取締役 **林 敬一郎**


〒01-0555 岐阜郡大野町公郷1403番地
TEL 0565935-2511 FAX 0565935-2327
URL <http://www.gfusanken.com>

リスのステスチック
 **岐阜プラスチック工業株式会社**

代表取締役社長 大松 利幸

本社 岐阜市神田町9丁目27番地(大岐阜ビル12階)
〒500-8721 ☎ <058> 265-2231(代)

生産本部 各務原市前渡東町4丁目222番地
〒504-8702 ☎ <058> 386-9311(代)

 **関プラスチック工業株式会社**
株式会社 **セキプラ**
プラスチック製品成形加工・プラスチック精密金型設計製作

代表取締役
洞 田 禮 彰

〒501-3904 岐阜県関市明生町2-7-10
TEL <0575> 22-4352(代)
FAX <0575> 24-5131
E-mail: office@sekipla.co.jp


ポリエステル、ナイロンをリサイクルする
タナジン®(ナイロン樹脂)
サイクリーン® アラフノン® ポビン資材回収

 **高安株式会社**

代表取締役社長 高安 義英
<http://www.takayasu-rf.co.jp>

本社 〒504-0828 各務原市蘇原村雨町3-47 ☎058-382-2231
坂祝工場 〒505-0071 加茂郡坂祝町黒岩1516 ☎0574-26-4171

独創技術で複合材の明日を拓きます

 **天龍コンポジット株式会社**

代表取締役社長 大竹 正泰

〒509-0304
岐阜県加茂郡川辺町中川辺1430番地1
TEL 0574-53-2351
FAX 0574-53-2354

プラスチック原料の着色加工

 **株式会社 ニッセキ**

代表取締役社長 石原 良美

本社・工場
〒503-0641 海津市海津町内記194
TEL (0584) 53-0238
FAX (0584) 53-0359
nskkaizu@octn.jp

 **PEARL CHEMICAL PRODUCTS**

代表取締役
杉 山 元 彦

各種プラスチック真空成型加工

 **パール化成株式会社**

本社・工場 〒501-0473 岐阜県本巣市温井243-3
TEL (058) 324-9155(代) FAX (058) 324-6221
岐阜工場 〒500-8256 岐阜市八坂町40番地の1
TEL (058) 271-0861(代) FAX (058) 275-0970
E-mail info@pearl-kaseihin.co.jp
URL <http://www.pearl-kaseihin.co.jp/>



 **Hachiman-kasei co.ltd.**
plastic products

代表取締役社長
高 垣 美 代 子

 **way-be®**

八幡化成株式会社

本社・工場 〒501-4204 岐阜県郡上市八幡町旭182番地
TEL <0575> 67-1175 FAX <0575> 65-5150
福岡OFFICE 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東
2丁目9番13号東福ビル4F
TEL <092> 483-1514 FAX <092> 483-1808
<http://www.hachimankasei.co.jp>
e-mail info@hachimankasei.co.jp
miyoko-t@hachimankasei.co.jp



MUTO

ムトー精工株式会社

代表取締役 田中 肇

本社工場 〒509-0147 岐阜県各務原市鵜沼川崎町1-60-1
TEL(058)371-1100(代) FAX(058)371-2593
岐阜工場 〒509-0147 岐阜県各務原市鵜沼川崎町1-93
TEL(058)383-8311(代) FAX(058)383-1516



TOKAIKASEI Inc.

代表取締役 兼
CEO

宇野 兼史

豊田東海化成工業所

本社 〒501-2101 岐阜県山県市大桑4370
TEL(0581)27-2111 FAX(0581)27-2915
○水尾工場 〒501-2101 岐阜県山県市大桑310-1
TEL(0581)22-3302 FAX(0581)22-1288



URL : www.tokaikasei.co.jp E-mail : kenjuno@tokaikasei.co.jp
携帯電話 090-9124-6518



プラスチック原料製造販売
委託加工及びカラーリング

美濃化学工業株式会社

代表取締役 吉田 健司

〒501-3763
岐阜県美濃市極楽寺 1 4 5 1 - 1
TEL(0575)33-1888 FAX(0575)33-1618
E-mail:mk1451@ceres.ocn.ne.jp

岐阜県のプラスチック 2010年 第200号

平成22年6月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号
(岐阜産業会館4階)

電話(058) 272-7173

FAX(058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大塚 忠秋

全てのニーズにお応えするJPP
技術力で信頼にお応えするJPP

Excellent Polypropylene

日本ポリプロ株式会社は、全てのお客様の信頼に広範かつ高度な技術力で適確にお応えしてまいります。

ノバテック®PP

卓越した材料設計技術で広範な応用分野のニーズにお応えするポリプロピレン

ウィンテック®

独自のメタロセン触媒技術によって開発された新世代ポリプロピレン

ニューコン®

当社独自の気相重合法によって制御された特異的な固体構造を有する新規ポリオレフィン系リアクターTPO

ニューストレン®

高い溶融張力を有し、大型ブロー、肉厚シート成形、異形押出成形が可能な高機能ポリプロピレン

ニューフォーマー®

高い溶融張力と歪み硬化性を有する発泡成形用ポリプロピレン

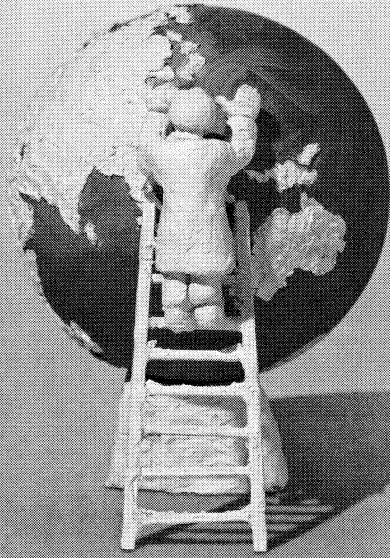
ファンクスター®

射出及び溶融圧縮成形向け高性能ガラス長繊維強化ポリプロピレン

 日本ポリプロ株式会社

〒108-0014 東京都港区芝4丁目14番1号 TEL03-6414-4500

地球快適化研究所。



20世紀から持ち越されたさまざまな問題を解決し、トータルなライフステージを快適化するのが21世紀の化学の仕事です。三菱化学グループは、世界でも比類のない幅広い技術フィールドをカバーする先端技術多面体です。先端機能材料やナノテクノロジー、有機エレクトロニクス、デバイス。ヒューマン・ヘルスケアでは、ゲノム創薬やタンパク質機能解析…など、多数の分野にチャレンジしています。私たちはグループの技術力をベースに、社会のニーズに応えるソリューションを提供しながら、21世紀の夢をスピーディに実現します。

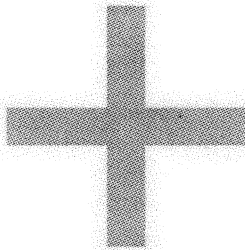
三菱化学株式会社
Telephone:03-6414-3000
URL:http://www.m-kagaku.co.jp

ShinEtsu

信越シリコーン

またひとつ、新機能。

[プラスアルファ]



ヒラメキを糧に新たな機能をプラス

信越シリコーン

「こんな素材があったらいいのに!」「こんな機能をプラスできれば!」…そんないくつものヒラメキに出会い、信越シリコーンはこれまでとは違う個性を持つ、新しい機能を付与した高機能シリコーン製品を開発してきました。これからも、さまざまなご要望にお応えし、お客様の製品に+αの付加価値をつけるシリコーンを提供してまいります。

【新しい機能で製品に付加価値をプラスするシリコーン】

■ 樹脂改質用シリコーン
オイル、パウダー、シランカップリング剤、レジンなど。樹脂に潤滑性・耐摩耗性、耐衝撃性・難燃性・成形性などの付与に
*取り扱いが容易で分散性に優れたシリコーンマスターバレットもあります。

■ シリコーン離型剤
オイル、ペースト、エマルジョン、スプレーなど。
離型性はもちろん、つや出し、表面保護、潤滑性向上などに

■ シランカップリング剤
合成樹脂、塗料、接着剤などの機能向上に

■ シラン
セラミックスの合成、無機物質の表面改質、樹脂改質などに

信越化学工業株式会社

〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4-5-28 近鉄新名古屋ビル
名古屋支店 シリコーン部 (052)581-6515

雨水利用タンク

ホームダム

RWT-250

ご家庭で雨水の有効利用に!

異常気象からの水不足、あるいは集中豪雨…。水の大切さを見直す時が来ていると思います。自然のめぐみ雨水をもっと活かして使うことを考えましょう!!庭の草・花・木への水やり、洗車などまだまだたくさん活用出来ます。



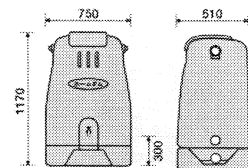
1 専用付属部品で簡単施工
(丸型トイレ用 55%・60%・75%)

2 ドレン付で簡単清掃

3 架台付きです
(別架台はオプション)

4 水道料金の節約
(例) 某市で料金200円/m³を納めているご家庭では。
・ホームダム1杯(250ℓ)約50円
・週に2杯溜めると約400円/月
・年間では約4,800円が節約出来ます。

5 雨水タンク転倒防止用
Uボート金具付です



製品仕様

容量	250ℓ
重量	約22kg
材質	超高分子量ポリエチレン



コダマ樹脂工業株式会社

本社 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL(0584)27-4141
 本社営業部
 容器包材部 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL(0584)27-4992
 産業資材部 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL(0584)27-5055

東京支店 〒104-0031 東京都中央区京橋1-16-10(オークビル京橋) TEL(03)3564-5266
 大阪支店 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2丁目5番2号(新サンケイビル7階) TEL(06)6341-0015